

備前市事務事業評価シート

(平成24年度事業)

事業の概要		事業開始年度		平成17年度～		根拠法令・例規等		道路法	
総合計画	大項目	基本目標	01	安全で快適に暮らせるまちづくり		問	担当課(室)	都市整備課	
	中項目	基本施策	03	生活しやすいまちづくり			職・氏名	土木係長 大森 康晴	
	小項目	施策	01	道路			電話	0869-64-1835	
事務事業名		03		道路維持管理事業		このシート作成に要した時間		3.5 時間	

事業の目的		Plan	
対象(誰・何に対して)	道路を通行する歩行者・自転車・二輪車・自動車		
目的(何のために)	安全で安心して円滑に道路を通行するために。		
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)	道路維持管理の不備による事故発生を未然に防ぐ。		

事業の実績		Do	
目的を達成するため実施した事業	細事業名	事業の説明	優先度
	道路維持管理事業	既設の擁壁、道路側溝、舗装等が損傷して通行に支障が出た場合に修繕を行なう。	
	橋梁維持管理事業	橋梁が損傷して通行に支障が出た場合に修繕を行なう。	

決算額	事業費等		単位	平成22年度実績	平成23年度実績	平成24年度実績
	直接事業費	千円		39,119	41,478	44,835
	必要人員	人		1.12人	0.77人	1.04人
	事業費	千円		9,750	6,717	6,916
	事業費	千円		48,869	48,195	51,751
	国庫支出金	千円				
受益者負担						
繰入金						
市債						
その他()						
一般財源			48,869	48,195	51,751	
受益者負担比率	%		-	-	-	

結果指標	結果指標名	単位	平成22年度実績	平成23年度実績	平成24年度実績
	説明		維持修繕箇所数(工事請負費+需用費)		
	対前年比	%	134	139	126
	活動コスト	円	39,119,000	49,533,000	51,751,000
単位当たりコスト		291,933	356,353	410,722	

事業の成果		平成22年度					平成23年度	平成24年度	平成25年度目標値
成果指標名	年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度目標値				
	目標値(A)	0	0	0	0			0	
	実績値(B)	0	0	0	0			到達目標値	
達成率(B/A)	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!				毎年	
成果指標設定の考え方・式や説明									
道路の維持管理の不備が原因となる事故発生件数									

事務事業の評価		該当する項目を から へ く 「コピー」して「貼り付け」してください		Check		
妥当性の評価	市の関与の妥当性	市が実施するよう法令で義務づけられている 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない 事業の内容が一部の受益者に偏っている 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である 事業開始当初の目的から変化してきている 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある			妥当性評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い い	
	市民ニーズ	市民・団体等から要望・要請が強い			A	
効率性の評価	コスト	単位当たりコストは前年度と比較して改善している 実施方法(派遣・委託含)を見直すことでコストを下げる余地がある 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい 受益者負担率は適正である 受益者負担率を見直す余地がある サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている			効率性評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い い	
	目的達成度	成果指標の設定は適切である 成果指標の到達目標値は達成できそうである 成果指標達成率は前年度と比較して向上している 成果指標達成率は80%未満となっている 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない 法定事務・内部管理事務 であり成果は求めにくい 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している			有効性評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い い	
市民参画度					B	

進行年度(H25年度)の改革改善内容							
状況	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
説明	限られた予算の中で、要望のあった修繕箇所を十分精査し、市道・市管理河川等ボランティア推進事業を行う団体と協議しながら、危険性・緊急性の高いものから実施していく。						

総合評価		総合評価	
道路施設の老朽化が進んでいることから、事業量・事業費は増えている。このことから、修繕内容を十分精査し、市道・市管理河川等ボランティア推進事業を行う団体と協力しながら、安全・安心の観点から危険性、緊急性の高いものから実施していく必要がある。		総合評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い い	
		A	

平成26年度の方向性・取組目標							
方向性	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
取組目標	限られた予算の中で、危険性・緊急性の高いところから実施していく必要があるが、修繕箇所の早期発見、早期対応により、費用の縮減及び事故の発生を未然に防ぐことに努める。						

事業の意図する成果とつながる成果指標を設定

事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性を評価

事業費や受益者負担比率、単位当たりコストに留意しながら効率性を評価

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら

Check

Action